

建設機械・各種トラックの売買・輸出・リースのことならディーゼル通商へ

今月のディーゼルレポート DIESEL report

Meetsプラス第1号はトラックの輸出向け車両についてのお話です。

日本のトラックが海外でも高い評価を得ていることは、皆さんもご存じかと思えます。海外においてのトラックの相場を決める大きな要因が、為替だということは有名ですね。ただ、海外の人気機種を決める一つに、“コンテナサイズ”があることをご存知の方は少ないのではないのでしょうか？トラックをそのまま輸出すると、アジア圏ではかなりの税金を払わなくてはなりません。そこで、トラックをコンテナで“部品”として輸出します。そうすることで安い税金で輸出することができるのです。

ここで問題になってくるのが、コンテナサイズ。コンテナ輸出で一番多い4tクラス。ワイドキャビンだと、キャビンの幅がコンテナより大きいため、キャビンを横にしないと入りません。

しかし、標準キャビンなら、そのままコンテナに収まります。税金の安い“部品”としてコンテナ輸出できる標準キャビンの方が、ワイドよりも海外において需要が高く、相場も上がります。このように、輸送や輸出先の環境等が、海外の相場や人気に大きく関係しています。

日本で人気があっても海外で安いもの。逆に、日本では不人気なのに海外では人気のもの。みなさんの持つトラックが、実は海外でとても人気があるといったこともめずらしくありません。

資産価値を知りたいだけのお見積りも大歓迎です。場合によっては、今より新しい機種が買えるほどの価格がつくこともあるかもしれません。

おすすめ在庫機 recommend stock



KUBOTA
RX-141

2003y **¥600,000**



KOMATSU
WA100-3E

1997y **¥3,100,000**



HITACHI
ZX30UR-2

2007y **¥1,400,000**



HITACHI
ZX35U

2004y **¥1,150,000**



KOMATSU
PC128UU-1

1994y **¥2,100,000**



キャンター ダンプ
PDG-FE71BSD

H19 **¥1,600,000**



レンジャー 平ボディ
KK-FC1JKDA

H13 **¥1,500,000**



UD 10t 平ボディ
KL-CD48ZVA

H13 **¥2,500,000**



ボンゴ 平ボディ
TC-SK82T

H16 **¥400,000**



三菱ふそう クレーン付
PJ-FU50JY

H18 **¥7,500,000**

その他多数在庫取り揃えています！

海外レポートは裏面へ！

担当者より staff message

はじめまして。meetsプラス、第1号担当の代表取締役ユノマエです。

第一回目ということで自己紹介からさせていただきます。鹿児島県出身の33歳。趣味はサーフィン・スノーボード。あと、この業界に入ってから、ゴルフもやるようになりました。好きこそもの上手なれとはよく言いますが、僕の場合は下手の横好きといったところでしょうか…(ベストスコア106)明日のラウンドに一人足りない。海・山に行くのに運転手がない。そんな時はお気軽に誘ってください。喜んでお供させていただきます。



まずはお気軽にご連絡ください！ TEL 0725-33-8989



建設機械・トラック・売買・輸出・リース
ディーゼル通商株式会社

本社 〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町4丁目3-31
小間清実業ビル2F
岸和田ヤード 〒596-0105 大阪府岸和田市内畑町1758-1

当社ホームページにて取扱在庫も確認いただけます

<http://diesel-trading.jp/>

TEL 0725(33)8999 FAX 0725(33)8999

Email: info@diesel-trading.jp

Russia

毎回、違った地域からの海外レポートをお届けします。

今回はロシアのウラジオストク、ナホトカをはじめとする極東地方についてレポートします。

極東地方

ウラジオストクは、ロシア連邦沿海地方の南部、日本海に突出するムラヴィヨフ・アムールスキー半島の南端に位置し、金角湾(ザライ・ログ)と呼ばれる深く入り込んだ天然の良港を中心に広がる坂の多い町です。札幌市とほぼ同経度(北緯43度、東経132度)にあり、新潟市から直線距離は約800kmです。

ロシアの極東地方の主要産業は水産業と林業で、運輸の割合が高くなっているのが特徴となっています。極東主要港湾を抱え、シベリア鉄道の終着駅でもあることから、極東の物流拠点の役割を果たし、産業の中心地となっています。

「ロシア向け」の建設機械

極東各地の土木・建設工事に伴い、10t、25t、35t、60tクラスのラフタークレーンの需要は常にあります。米製のものもあるものの、地理的にも近くの精度の高い日本製ラフターの方が人気があり、中でも、ロシアと長い歴史を持つコマツは有名で、LW100/LW250のWING仕様は特に人気があります。

それに対し油圧ショベルは、精度は劣るものの日本の中古価格で、韓国製や中国製の新品が買えることから、韓国や中国からの輸入が中心となっているようです。

ミニ油圧ショベルに関しては、CAB・鉄シュー・ヒーター・ブレード付といった仕様が田舎のエンドユーザーに好まれ、冬が明けた4月～10月にかけては需要が見込まれます。

道路機械に関しては、アスファルトフィニッシャー(4.5m、6.0m)、振動ローラー、除雪機械などが未開発地域の開発の為、年間を通して自治体からの需要があります。但し、2009年1月よりロシア政府が自国自動車産業保護を目的とした輸入車の関税を大幅に引き上げたため、トラックベースの除雪機械や高所作業車の輸出は減少傾向にあり、需要は落ち込んでいます。

D155やD375などといった大型ドーザーについても、ウラル山脈やシベリア方面の鉱山向けに問い合わせは多くあるもののマーケットプライスはかなり低く、アメリカから安く輸入できるため、こちらの需要も落ち込むことが予想されています。



建設プロジェクト

太平洋パイプライン・プロジェクト

現在、ナホトカ市のコジミノ湾に石油精製・積出施設の建設が計画されていて、2007年4月より着工予定でしたが、具体的な動きは未だ見られません。ハバロフスク・沿海地方間のパイプライン建設も未定ですが、石油の鉄道輸送が計画されているそうです。

大規模公共事業(2012年APECサミット開催)構想

沿海地方行政は、ダリキン知事の指揮下で、2012年ウラジオストク市内でAPECサミット開催にあたり、連邦政府から1,000億ルーブル(=38億ドル)の予算が投入されるとしています。また、市町村合併を行い人口100万～300万人規模のメガロポリス「大ウラジオストク」を創設するとの構想も伝えられています。

最後に、先述の通り2012年ウラジオストク市のAPECサミット開催に伴い、市内では関連の公共事業や再開発事業が多く着手され、観光促進に力を注いでいます。このことからラフタークレーンなどの公共建設向け機械については引き続き高い需要が見込まれています。

参考資料

Bilateral relations, Consulate-General of Japan in Vladivostok,



APEC開催に向けての建設工事



ウラジオストク港



建設機械・トラック・売買・輸出・リース

ディーゼル通商株式会社

本社 〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町4丁目3-31
小間清実業ビル2F

岸和田ヤード 〒596-0105 大阪府岸和田市内畑町1758-1

当社ホームページにて取扱在庫も確認いただけます

<http://diesel-trading.jp/>

TEL 0725(33)8999 FAX 0725(33)8999

Email: info@diesel-trading.jp